

# 一般社団法人日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会

## 2017年度事業計画書

### 1 全体方針・事業計画

2017年度は、当協会の10年を振り返り、国際的な活動も視野に入れた当協会の更なる10年後を見据えた提言を行うとしている。また当協会事業の中心となっている「なかま」は助成事業として最終年度（5年目）を迎え、これまでに取り組んできた地域支援ケースの整理、課題の分析等を行い、聴覚障害のソーシャルワークの実践について調査研究の報告が求められている。現在は「なかま」の助成による研修開催や事務局業務が可能となっているが、今後は「なかま」終了後を見据えた活動縮小と事務局業務の負担軽減が課題となっており、専門職能団体として今後の運営及び事業の検討が求められているのではないかと考える。

一方、メンタルヘルス公演学習会は聴覚障害児・者の精神保健の必要性が地域に少しずつ周知され、これは当協会の周知・普及活動ともなっており、引き続きの活動が求められている。

当協会は「聴覚障害児・者の相談支援体制における政策提言」「実践ソーシャルワーカーの養成」「組織強化」の3点を目標に掲げ活動を展開してきたが、今年度の重点課題は、「なかま」の現状分析を踏まえ、中長期計画を立てた役員体制の強化を推し進めていくこととし、以下の点を今年度の事業計画として取り組みたい。

#### (1) メンタルヘルス公演学習会の全国展開

メンタルヘルス公演の開催地は、「なかま」の個別支援の派遣が行われている地域及び依頼があったところを重点地域として前年度同様に4か所を対象に進めていく。また相談コーナーを通して、登録ワーカーを派遣し資質の向上を図り、現地資源の開拓及び地域の関係者・機関、聴覚障害者相談員等との連携による地域の聴覚障害者の生活支援、就労支援、メンタル支援の側面的サポートを行う。

「なかま」支援対象の地域以外から開催希望の依頼があった場合は自主公演とし、会場、役者にかかる交通費、宿泊費、謝礼等は依頼先の負担とし、学習に係る講師は「なかま」派遣とする。

(理由)メンタルヘルス公演学習会は聴覚障害者の特性と精神疾患及び精神障害の理解を深めることを目的として実施している。本事業は相談受任につながるため、相談支援体制の強化が求められる地域を対象とする。また、メンタルヘルスに関心をもち公演学習会開催の依頼があった地域についてはできるだけ地域の意向に添って開催する予定（東京、大阪、札幌、福岡、名古屋などの大都市や政令指定都市は対象外としたい）。

#### 2) 2017年度事業の進捗状況（開催予定地）

##### ① 鳥取県

日時：2018年1月14日（予定）

場所：鳥取県米子市

主管：(公社) 鳥取県聴覚障害者協会

② 大分県

日時：2018年1月20日(土)または21日(日)

場所：大分県大分市ホルトホール

主管：(社福) 大分県聴覚障害者協会

③ 富山県

日時：2018年3月4日(日)

場所：富山市とやまサンシップ

主管：(一社) 富山県聴覚障害者協会

④ 東京(自主公演)

日時：2017年2月頃

場所：東京都世田谷区(区士協会担当による)

主催：(公社) 東京聴覚障害者総合支援機構東京聴覚障害者連盟

NPO法人世田谷区聴覚障害者協会主管

⑤ その他(希望が出されているところ)

筑波技術大学(予定)

(2) ネットワークの構築

前年度に続き、日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士会、日本スクールソーシャルワーク協会、司法ソーシャルワーク協会(大阪弁護士会、東京弁護士会)等との関係を構築し、聴覚障害に特化した医療・司法・教育・就労等の相談支援について意見交換等を行い、専門職としての知見を高め、資質の向上を図る。

(3) 会員の質の向上

「なかま」事業の派遣、事例発表など自己研鑽の機会を提供し、また職務に関する知識・技術ならびに倫理・資質の向上を図ることを目的として、専門性に特化した講師を招いた研修会を実施する。

(4) 国際ソーシャルワーク研究活動の取り組み

欧米・アジア等のソーシャルワークについて積極的な情報提供と研究活動の取り組み企画の提案を会員にお願いし、会員相互の交流を通して若手の育成を図る。

(5) その他

- ・役員会を年2回から年4回に増やし、意思疎通を図りながら中長期計画を立てる。
- ・「なかま」の活動の調査研究報告書の制作について検討する。
- ・会員メーリングの投稿の促進を図る。

## 2 研究・研修(案)

(1) 6月研究大会

【会員対象】

日時 2017年6月17日（土）

会場 東京大学 駒場キャンパス 18号館ホール（東京都）

＜研修プログラム＞

時間	内容	その他
	開会	司会
14:30	なかま状況報告	
14:40	事例報告・意見交換 (途中休憩 10分あり)	ろう学校スクールソーシャルワーク (発達課題・不登校) 地域ケース (アルコール依存・統失疑)
16:50	まとめ	
17:00	終了	司会

【一般対象】

日時：6月18日（日）

場所：東京大学駒場キャンパス 18号館ホール

＜研究大会プログラム＞

時間	内容
9:30～10:00	受付
10:00～10:10	会長挨拶・趣旨説明・講師紹介
10:10～11:40	【基調講演】 「スクールソーシャルワークの制度の現状と課題（仮称）」 特定非営利法人日本スクールソーシャルワーク協会副会長 内田 宏明 氏
11:40～12:30	昼食
12:30～13:00	午後の部 受付
13:00～13:50	【全体報告】 ・テーマ： 「聴覚サポート『なかま』事業の支援活動4年を振り返って ～ろう学校スクールソーシャルワークの取り組みの意義と必要性 ～（仮称）」 ・（一社）日本聴覚障害SW協会副会長 聴覚サポートなかま派遣コーディネーター 矢野 耕二 ・（一社）日本聴覚障害SW協会事務局長 舘脇 千春
14:00～15:55	【現場から】 進行：（一社）日本聴覚障害SW協会 テーマ：「特別支援教育制度におけるろう学校の

	<p style="text-align: center;">スクールソーシャルワークについて考える」</p> <p>報告者：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県立聴覚特別支援学校進路主任教諭 小林 宇文氏</li> <li>・群馬県立聾学校中学部主事 山口 桃子氏</li> <li>・筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター教授 大杉豊氏</li> </ul> <p>助言者：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社) 日本スクールソーシャルワーク協会副会長 内田宏明氏</li> </ul> <p>講評：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京大学大学院総合文化研究科教授 市野川容孝氏</li> </ul>
15:55	まとめ：(一社) 日本聴覚障害SW協会会長 稲 淳子
16:00	終了

## (2) 研修会

会員及び有資格者を対象にした研修内容を企画し、大阪での開催を検討(日時・場所は未定)。

## 3 広報

- ①メールニュースの配信
- ②会員の協力(会員メーリング活用工夫・寄稿等)
- ④HP コンテンツの充実化、管理運営方法の検討

以上